

平成29年度
推薦入試試験問題
(生活科学科 食物栄養専攻)

注意事項

- 1 解答は、すべて解答用紙に横書きで記入してください。
- 2 解答用紙は2枚ずつあるので、どちらかを下書きとして使用してください。
- 3 解答用紙の提出用・下書き用はいずれも回収します。
- 4 受験票とこの問題用紙は持ち帰ってください。

課 題

2011年3月に東日本大震災, 2016年4月には熊本地震が起こり, 甚大な被害と多数の死傷者を出した。また, 内閣府が2012年8月に発表した南海トラフの大地震による津波は, 鹿児島県大隅地方の太平洋沿岸で5~10mになると予測されている。

下記の新聞記事は, ある30代の女性記者が食事だけの被災生活を1週間体験してみたものである。次の文章を読んで, 後の問いに答えなさい。

【省 略】

【省 略】

【省 略】

(『日本経済新聞』2013年2月2日, NIKKEIプラス1より作成)

問1 下記の家族を想定した場合、どのようなことに気をつけて、ライフラインが途絶えた3日間の非常食を準備する必要があると考えますか。解答欄の表に非常食の種類と食数を書き入れなさい。また、その理由を300字以内で述べなさい。

なお、缶詰はC、レトルト食品はR、フリーズドライはFと表記しなさい。

家族構成	好物
父親 (40代)	酒, ピーナッツ, さきいか, 塩辛
母親 (40代)	チョコレート, ショートケーキ, コーヒー
中学生2年生男子	ポテトチップ, コーラ
小学生5年生女子	グミ, アイス, ビスケット
祖母 (70代)	黒砂糖, 漬け物, 大福もち

問2 この記事の1週間の非常食による生活を通じてどういう問題が生じたかを示し、それらの解決のためにどのような点に気をつけることが大切であると考えますか。400字以内で述べなさい。

